

令和 6 年 7 月 29 日



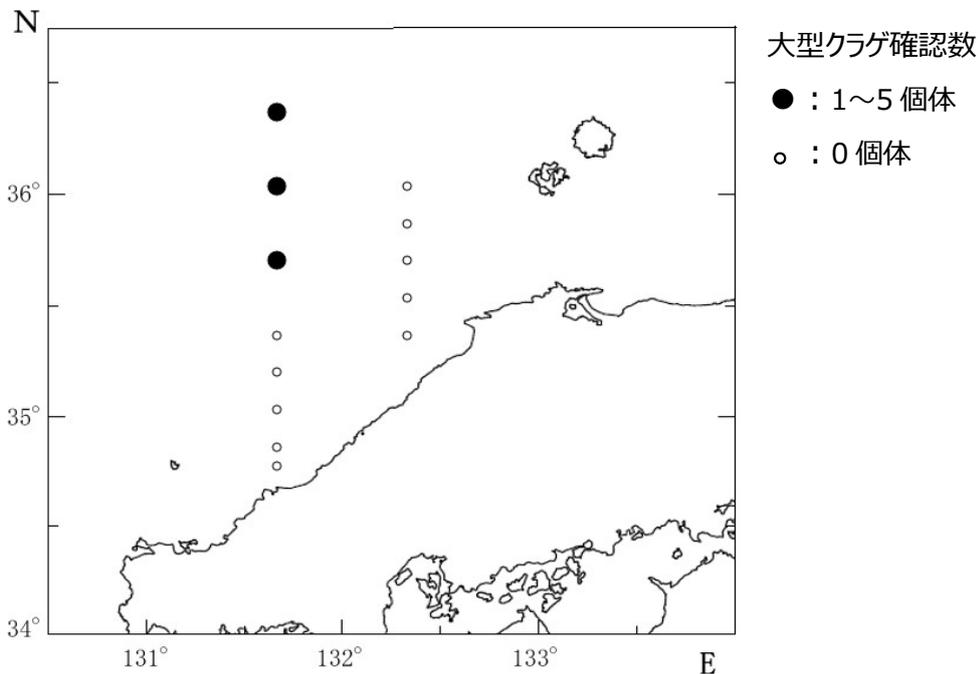
# 大型クラゲ情報(令和 6 年度第 4 号)

## 概要

- ・試験船による大型クラゲ出現調査を行い、三点で出現を確認しました。鳥取県による調査でも大型クラゲが確認されており、このように広範囲の海域に出現するのは 2009 年以來となります。
- ・隠岐・県東部の定置網で大型クラゲの入網が続いており、被害も確認されています。
- ・対馬海峡では依然として大量の大型クラゲの出現が確認されています。現在は沖合に濃密に分布していますが、気象条件によっては沿岸に大量出現する可能性があります。引き続き沿岸漁業・沖合漁業ともに警戒を続けてください。

## 試験船「島根丸」による大型クラゲ目視調査結果(7月24~25日実施)

- ・試験船島根丸を用いて、7月24~25日にかけて、大型クラゲの目視調査を行いました。各調査定点から2マイル航走する間において、試験船の両舷から目視にて大型クラゲの出現の有無を確認しました。
- ・調査の結果、図中に示した三点において、1~5 個体の大型クラゲを確認しました。サイズ(傘径)は60~70cm 程度でした。一方、沿岸寄りの調査定点で大型クラゲは確認されませんでした。



## 本県の出現状況(7月19日~25日)

- ・隠岐の定置網では50~200 個体程度の大型クラゲの入網が続いており、網が破れるなどの被害も報告されています。今までは島の北側に位置する定置網で入網が多かったですが、南側の定置網でも増加してきました。サイズも70~100cm 程度と、徐々に大型化しています。

- ・県東部の定置網でも 4～60 個体の大型クラゲの入網が続いています。サイズは 40～60cm 程度。また、漕ぎ刺し網の漁具がクラゲによって破損したという報告も受けています。

### **水産教育・研究機構からの情報提供（7月17日現在）**

- ・7月17日に行われた対馬海峡における国際フェリーからの目視調査の結果 対馬海峡東水道で23個体、西水道で1,391個体の大型クラゲを目撃しました。
- ・対馬での目撃情報を基に最新の海況情報を用いて日本海における移動予測計算を行った結果では、対馬海峡から流入した大型クラゲの一部は日本沿岸に沿って北東に移動し、8月上旬に能登半島に達すると考えられます。

※詳細は水産教育・研究機構 HP

([https://www.fra.go.jp/shigen/marine\\_environment/kurage/kurage.html](https://www.fra.go.jp/shigen/marine_environment/kurage/kurage.html))

### **漁業情報サービスセンター（JAFIC）からの情報提供（7月29日現在）**

- ・山陰における大型クラゲの出現が本格化しつつあります。
- ・これまでの出現状況から、島根県沿岸には数百～千個体を超える入網の可能性が示唆されますが、現状はそのような出現にはなっていません。これは沖合に濃密な群が分布しているためと考えられますが、気象等の影響で沿岸に大量出現する可能性があります。山陰は全域で警戒してください。
- ・島根・鳥取の調査で、沖合までの広範囲で目視・入網があります。試験研究機関の調査で広範囲に確認があるのは2009年以来です。

※詳細は漁業情報サービスセンターHP (<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

**【発信者】**

島根県水産技術センター  
海洋資源科 担当：石原  
TEL: 0855-23-4806  
FAX: 0855-23-2079  
Email: [suigi@pref.shimane.lg.jp](mailto:suigi@pref.shimane.lg.jp)